

2022年教育カウンセリング・オンライン公開講演会 参加者感想アンケートまとめ

秋田県教育カウンセラー協会

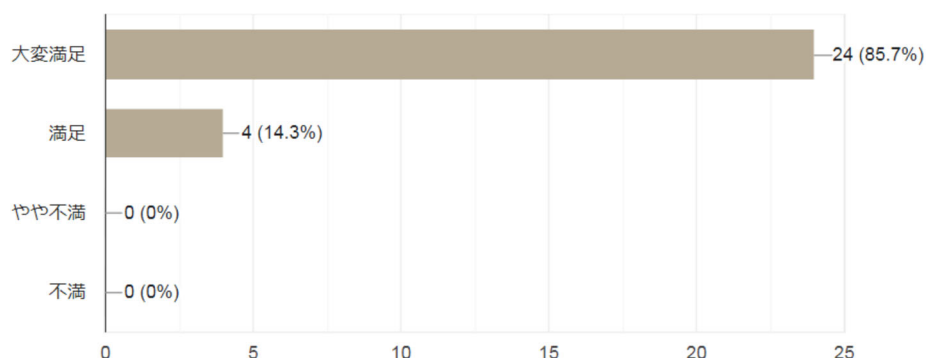
2022年7月3日（日） 13:30～15:30

公開講演会テーマ

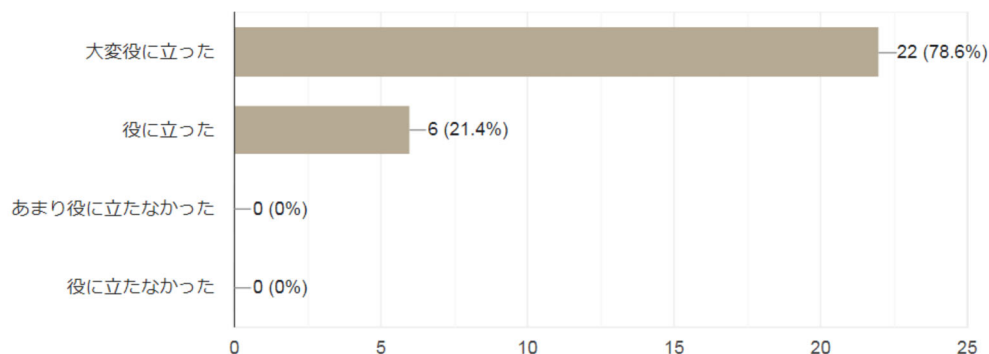
「HSCの理解を深めるー学校における支援のあり方ー」

講師：明橋 大二先生（真生会富山病院 心療内科部長）

① 講演会全般について（回答数28名分）



② 講演会の内容について（回答数28名分）



③ 講演会の内容についての感想

✂ HSCに必要な支援は全ての人に必要だと言葉に感銘を受けました。特別扱いせず皆が生活しやすいようにするよう考えていきたいです。講演会を聞くことができ良かったです。

✂ 明橋先生の言葉には子どもや保護者を支える温度があり、ご講演を聞いている間だけでなく、今もなお、勇気づけられたポカポカが続いています。

一人ひとりの子どもたちに与えられたとびっきりのプレゼントを、これからも大切に育てられるよう仕事に励みたいと思います。

明橋先生、本当にありがとうございました！

- ✂ 明橋先生の著書を何冊か持っています。でも、生の声をお聴きするのは今回が初めてでした。ゆっくりとした語りかけで、普段も患者さんに丁寧に接している様子うかがえます。講演会をお聴きすることができて良かったです。
- ✂ 明橋先生の講演を久しぶりには拝聴しました。ありがとうございました。HSCと発達障害は別物、その根拠を理解できたことで、今後の相談活用に生かれます。また、明橋先生の柔らかく、温かいお人柄に今日も触れることができて心が和みました。明日からの相談活動に生かし、より自分のものにする努力を続けます。本日は、大変お世話になりました。
- ✂ 関わっている生徒の顔が浮かぶような内容でした。ニューロダイバーシティの考え方が参考になりました。敏感な生徒たち向けの支援は、全ての生徒たちのためであるというのも、本当にその通りだなと思いました。(イラストがほのぼのしました)
- ✂ 生存戦略としてのニューロダイバーシティという視点に納得でした。いろんな面での多様性の意義というか強みが認められつつあるのは、生きづらい人たちにとって少しずつでも生きづらさが減っていくかもしれないという希望を持ちました。
- ✂ 自分も含め、敏感な子どもに対する理解が深まりました。特にニューロダイバーシティという考え方や、自己肯定感を育む子育てに関し、支援に直結する内容で、ありがたかったです。先生のご著書は以前に拝読しておりましたが、直接お話をお聴きし本当に温かい方なのだと感激いたしました。山形にもいらしていただきたいなと思いました。
- ✂ 本で読むだけではわからない事も学べました。また、質問が皆、自分も聞きたかった内容が多く、しっかり学べた感がありました。本当にありがとうございました。
- ✂ 今とても知りたい内容でした。大変わかりやすく丁寧にお話いただき、納得できる場所が多かったです。質問の時間もたくさんとっていただき、よかったです。我が子のこと、教え子のこと、いろいろに合わせて考えて、勉強になりました。頻繁に訴えてくるのは、教えてくれたり、信頼して気持ちを表したりさせてくれているのだと捉えて、これからも頑張っていこうと思いました。ありがとうございました。
- ✂ HSC についての講座は初めてでカウンセリングに役立つ深い学びとなりました。不登校児童への対応、保護者へのアドバイスへとつなげていきます。どうもありがとうございました。
- ✂ 本を拝読していましたが、今回、明橋先生の HSC のお子さんや、保護者への温かい視点からのお言葉をきいて、学校での SC をしている自分として、とても励みになりました。特に、HSC の気づきが、環境を改善することに貢献しているというお話は、先生方に理解していただけそうです。「HSP のワークブック」の発行を楽しみにしております。
- ✂ 明橋先生の御講演内容については、昨年度 B 県の子育て支援関係で一度御講演を拝聴していたので、復習させていただきました。(著書も拝読しています) ですので、最後の質疑応答が「学校における支援の在り方」の部分でとても参考になりました。最近、HSP についての知識も広まりつつありますが、「じゃあ学校ではどうすればいいの?」という壁にぶち当たっているように感じます。「病気や障がいではなく個性」というところが、逆に支援を難しくしている気がします。(「病気や障がいならば即配慮するが、そうでないなら二の次…」といった印象)

- ✂ 数年前よりHSP、HSCについて興味を持ち、詳しく知りたいと思っていたので、講演を視聴することができ大変勉強になりました。
- 学校関係者ですが、学校では「生きづらい」と感じる子が目立つようになり、不登校も増えてきており、おそらくHSCと思われる子や発達障がいのある子が不登校ぎみになっているだろうと考えておりましたが、講演を聴いてはっきり認識できました。
- 講演の内容で、発達障がいのある子とHSCの違いもはっきりとわかり、今後の指導に生かすことができそうです。ありがとうございました。
- ✂ 明橋先生の本にお世話になっている日々、直接お話を伺う機会を得られたことに幸せを感じました。今回の講演会から、HSCと自閉症との相違点やHSCの気付きが教師の気付きとなりみんなが過ごしやすい学校になることを教えていただきました。本日はありがとうございました。
- ✂ 小中でスクールカウンセラーをしております。20年くらい前から、先生の御著書を読ませていただきました。ADHDの生徒も小学校の保健室においてあり、読んでいたと聞きました。発達障害の子どもや今回のHSCの子どもや保護者も大変助かっています。
- 「発達障害とは別のものであること」とその違いについても触れていただき、納得できました。神経が繊細すぎるということや、その辛さは当事者でないと分からないので、冒頭でお示くださった例は大変参考になりました。にぎやかな教室にいられない児童が、遠足なら行かれるなどの状況があり、学校では「好きなことだけする子」と捉えがちです。でも、たとえ遠足に行かれたとしても、何をどのように感じ、辛い瞬間があったかどうかは、子ども自身に聞いてみないと分からないことが想像できました。ニコニコして平和主義で学習もできてしまう子などは、何をづらいかを語れないことも教えていただき、こちらから声かけをしながら、支援していこうと思いました。本日はありがとうございました。
- ✂ 今日は貴重な講演をありがとうございました。スクールカウンセラーや子育て相談の場でHSCの言葉がご本人や保護者の方からも聞かれるようになり、そのことをきっかけに明橋先生のご著書を読ませていただいていたので、今日のご講義を大変楽しみにしておりました。先生から直接お話をお聞きしたことでより理解ができました。先生のご著書で勇気づけられたと言われる保護者とも出会ってきましたので、また、私の方でも今日のご講義を踏まえて、子どもたちや保護者の方に先生のお考えを伝えていけたらと思います。自己肯定感が土台になる話は特に感銘を受けました。ありがとうございました。
- ✂ HSCの特徴やその敏感さがどのように表れているのかについてよく分かりました。敏感な子ども達への対応や配慮は、全ての子ども達にとってもよい影響を生み出すというお話に、深く共感しました。また、保護者の自己肯定感も大切であるというお話から、学校が保護者の味方になり、協力して一緒に支援ができればよいと思いました。学校現場でそういった考えが浸透し、教員同士、また教員と保護者がチームとして子ども達を育てていくことが大切だと感じました。大変勉強になりました。ありがとうございました。
- ✂ 以前、HSCの児童との関わるがありました。納得の内容で、後付けでしたが関わり方が間違っていなかったと安心できました。クラスに入ることができな子供は、ちゃんと信号を発信してくれていたこと、HSCの児童生徒への配慮は学級づくりの基礎でもあったことが確認できました。
- 現在、介護と保育に関り、児童生徒から離れる環境になりましたが、すべての世代に当てはまる講演内容であったことに感謝しております。

- ✂ 今回 HSC について学ぶことができとても救われた気持ちになりました。
私は HSP で息子は HSC です。資料にあった内容が全て当てはまりました。
子育てにおいてはやはり「甘やかしている」と囁かれたり、そう思われているという事を非常に感じます。(私が HSP なので敏感なのかもしれません。)
なかなか理解されない子育てで悩み続け、発達障害の相談に行くべきかとも悩んだりしてきました。
今回の講演で、特にリフレーミングについて考えるきっかけを頂きました。
捉え方をポジティブに切り替えて、自己肯定感を高められるように接したいと思いました。
今後は自身の子育てで、また保育者を目指す者として、今回学べた事を生かして子供をサポートしていけるようになりたいと思いました。
このたびは貴重な講演会をありがとうございました。
- ✂ HSC という概念を初めて知りました。明橋先生が関わっている不登校のお子さんの 8 割がそうであること、5 人に 1 人がその傾向を持っていることなどの話にきっとじぶんの関わった子の中にも HSC の子がいたのだらうと思いました。自己肯定感を高めていくことはその当事者だけでなく周りを含めて関わる全ての人達への対応にその意識を持って行くのが必要ということですね。今は子どもたちに関わる機会が無いのですが、どんな人に関わるときでもポジティブ思考で・・・この年ですが自己肯定感も高めていきたいです。
- ✂ HSC についてわかりやすくお話しいただき理解が深まりました。ありがとうございました。
- ✂ 初めての学びでした。そういう子がいたなあ～と思いながらお聞きし、自分の指導が至らなかったと思いました。
- ✂ 自宅に居ながら臨床医の講義が聞け、主催者に感謝しています。対人関係の悩み相談、不登校の相談の際には、「HSC の子どもたちが少なくない」という事実を頭に置きながら対応したいと思います。
- ✂ 冒頭、明橋先生のご活躍が目につかぶようなあたたかい佐藤さゆ里先生の講師紹介に始まり、明橋先生の具体的なお話が分かりやすく、大きな学びを得た講演会でした。HSC に関する特性、発達障害との違い、HSC への対応の仕方等、順序立てて、具体的な内容でした。受講できて本当によかったと思います。ありがとうございました。
- ✂ 本では読んでいたことでしたが、実際に著者の先生のお話を聞くことができ、理解が深まりました。質疑応答も多くの時間があって、より具体的なものとなりよかったです。
- ✂ 初めての Zoom 講演会の視聴で多少不安がありましたが、丁寧な案内の説明を頂き、スムーズに参加する事ができました。ありがとうございました。
先生のお話も分かりやすく、敏感な子どもへの理解と対応の仕方を学ぶ事ができました。
また、2 度目、3 度目の講演日時を用意してくださり、ありがとうございます。この学びを身につけられるよう、再度視聴させていただきたいと思っています。
- ✂ 私は在職中、母親同伴登校が必要だと思われる小学校 1 年生の女の子 2 人に会い、母親同伴登校を促した経験があります。2 学期の始業式の朝、母親から離れられず母親同伴登校を始めた子は、母子分離不安で理解できたのですが、5 月の連休明けから登校しぶりをするようになり母親同伴登校をはじめた子は、どうも母子分離不安とは違うよ

うな気がして、どう理解すればよいのかずっと悩んでいました。

ところが、今回、HSCのお話を2回受講させていただくことができ、今までのモヤモヤした不思議な感覚が取れたような気がしました。お話を聞きながら思い当たるところも多く、きっとあの子はHSCの傾向を持っていたんだろうなあと思いました。この子は、自分の気持ちを出せたからよかったけど、他にも生きづらさを抱え我慢していた子がいたんだろうなあと出会った子どもたちに思いを馳せました。

HSCは15%～20%、5人に1人の割合で、人種で差はなく、男女の比率も同じ。明橋先生が関わってみえる不登校のお子さんの8割がそうであることなど、生きづらさを抱えながら学校に来ている子も何人かいるのではないかと思います。

HSCの子育ては、その子らしさを生かし、伸ばしていくこと。どの子もその子らしさを生かし、伸ばしていける子育て、支援ができるよう心していきたいと思いました。ありがとうございました。

◆オンライン開催に関するご意見やご要望について

- ✂ まさか、明橋先生の講演が聞けるとは思っていませんでしたので、有り難かったです。スタッフの皆さま、ありがとうございました。
- ✂ オンラインのお陰で、著名な先生のお話を伺えて、とても貴重な勉強の機会となっております。
- ✂ オンラインだったことで、コロナ禍でも明橋先生のご講演をうかがうことができました。また今回は思いがけず、全国的な通信障害がありましたが、それに対しての対応にも素晴らしい気遣いを感じます。オンラインだからこそ出会える出会いがあると思いますので、オンライン開催も充実した学びがあって良いと思います。
- ✂ はがきまで送っていただき、丁寧な運営に感謝しております。また、質問者のおかげでさらに理解が深まりました。ご講演の内容も運営も大満足です！ありがとうございました。
- ✂ オンラインだと距離関係なく興味のある講座に参加することができますので、これからもよろしくお願いします。
- ✂ 全国各地の方が、参加できることに感謝です。
- ✂ 家で講演会を聞くことができ、感染対策にもなっていて良かったです。
- ✂ このたびは貴重な機会を与えてくださり、ありがとうございました。事前に質問を受け付けて、それを御講演でお話いただくのも良かったかと思いました。
- ✂ この形は、いつでも、どんな場所でも聴くことが可能です。グループワークをするなら対面が理想ですが、講座だけならこの形も良いと感じました。
- ✂ 他県でも受け入れていただき、本当にありがたかったです。資料の印刷が難しかったです（私の技術的な問題だったのかもしれませんが、もし、他にも同じ感想の方がいらしたら、次回の参考にさせていただければと思います）
- ✂ 可能であれば、3～5分ほどでも途中で休憩があれば助かりました。
- ✂ オンライン開催で県内の会員だけでなく県外の方々も気軽に参加できてよかったと思います。

✕ 遠いところでも参加できるのは素晴らしいことだと思います。お忙しいところ、講演会の準備、ありがとうございました。

✕ 参加に際するの当たって、丁寧なご連絡等ありがとうございました。

✕ オンラインでは、忙しい日常の中で諦めていた講演や講義を拝聴できるので、非常にありがたいです。この度は私の不手際で始めに間に合いませんでしたが、入れてもらえて有り難かったです。主催者の皆様に感謝申し上げます。

✕ 興味がある内容でも、遠いと躊躇してしまいましたが、オンラインだととても助かります。ありがとうございました。

✕ 最初の予定日に参加できなかったのであきらめていたのですが、その後2回配信していただき、学びが深まりました。温かいご配慮をいただきありがとうございました。

⑤ 今後受講したい講座のテーマや講師について

✕ 明橋先生のご講話にもありました「犯罪を犯した人の養育歴や心理」にも興味をもちました。自己肯定感についても再度学びたいと思いました。

✕ 明橋先生のお話は今後もうかがってみたいです。

✕ 私は短大で保育者を目指す仲間達と学びを深めています。ぜひ幼児教育に向かう学生たちにも HSC についてこういった学びの機会があるといいなと感じました。

✕ 二次障害を起こしてしまっている子(人)へのカウンセリングや対応

✕ 大人の発達障害とカサンドラ症候群について。家族の苦悩と対処法。

- ✕ 1. 虐待から子どもを守るために～要保護児童対策地域協議会と学校との連携の具体例。
(お話できる講師の先生がいらっしゃるかどうか…)
2. 虐待された子どもの心の声を聴く…奥山眞紀子先生（小児精神科医，社会福祉法人子どもの虐待防止センター理事）

✕ マインドフルネスなどを学校で実践している方のお話をお聴きしたいです。

✕ LGBTQ に関する研修会，ゲーム・依存・障害関連の研修会を希望します。

✕ 「自殺に傾いた人への対応（予防も含めて）」 夏休み明けが心配なので。

✕ これを機会に，講演会や研修会など情報をいただければと思います。埼玉県在住ですので，オンラインで開催の時に参加させてもらうことになりますが，よろしく願い致します。

✕ 今のところ特にはありません。でも、いつもと同じく，ご案内をいただけたら，その時々で検討したいと思います。いつもご案内いただきありがとうございます。

✕ 毎回充実の講演を企画していただきありがとうございます。

——— 公開講演会に参加された皆様，アンケートへのご協力をありがとうございました。
秋田県教育カウンセラー協会では，皆様方のご期待にお応えできるよう，さらに努力してまいりますので，今後ともご支援，ご協力のほどよろしくお願いいたします。



秋田県教育カウンセラー協会の事業のご案内

◆2022年度 教育カウンセリング・オンライン研修講座

2022年11月12日(土) 9:30~16:30

「インターネット依存・ゲーム障害の理解と対応」

講師：三原 聡子先生

(独立行政法人国立病院機構 久里浜医療センター 主任心理療法士)

「学校における児童生徒の『性の多様性』への対応」

講師：佐々木 掌子先生

(明治大学文学部心理社会学科臨床心理学専攻 准教授)

◆2023年教育カウンセリング・オンライン研修講座

2023年1月21日(土) 13:30~16:30

「愛着障害と発達障害の支援と保護者対応」

講師：米澤 好史先生 (和歌山大学教育学部 教授)

